



さくら草コミスクだより

第 2 号

さいたま市立さくら草特別支援学校
令和 6 年 11 月 25 日 発行



学校・家庭・地域の連携について

11月6日(水)に、第2回学校運営協議会を開催しました。

今回は、学校・家庭・地域で連携してできる取組について、本校の児童生徒が主体的に地域や関係機関と関わっていくためにできることは何か話し合いました。

協議の中で、お手紙配りや小・中学校等との交流は子どもたちの笑顔が見られ、連携を図る上でとても素晴らしい取組であるというご意見をいただきました。また、今後も様々な形で地域や関係機関との交流も進めていけるとよいというご意見もいただきました。



<委員の方々からいただいたご意見(抜粋)>

- ・お手紙配りの活動は、児童生徒から地域の方々へ主体的に関わるよい活動だと思う。
- ・さくら草特別支援学校のことを知ってもらうために、児童生徒の活動を紹介する場があるといいのではないかな。
- ・小・中学校等の生徒への障害理解教育を進めていくことも大切である。
- ・学校行事等のお知らせを広く案内できるようにしたい。
- ・校外学習を行う大変さがよくわかる。行き先などは情報共有できるといい。
- ・卒園した子が「ポッチャが楽しい。」と話していた。ポッチャをきっかけとしたイベントがあってもいい。
- ・子どもたちは人と触れ合うことを求めている。交流は低年齢から始めたほうが、垣根が低くてよい。
- ・教員同士の交流もあるといい。
- ・公民館の文化祭に学校が参加する機会があるといい。
- ・子どもたちが地域で暮らす上で福祉関係の交流は大切だと思う。施設の充実も図っていききたい。

*** 文化祭も参観していただきました ***

文化祭週間ということもあり、協議後は委員の皆様にご文化祭を参観していただきました。この日は小学部低学年の発表と高等部の販売があり、子どもたち一人ひとりの活躍に拍手を送ったり、温かい言葉を掛けたりしていただきました。ありがとうございました。



小学部低学年の発表



高等部の販売

学校・家庭・地域で連携した取組については、学校ホームページで公開しています。ぜひご覧ください。



本校マスコットキャラクター
プリムローズ